

みんなの広場



伊万里駅通りを埋め尽くす市民総踊りの踊り手たち



特設ステージ前での巫女舞（左）と、その後のトンテントン模擬戦の様子

いまり秋祭り 2018

平成を結ぶいまりの秋

市街地でいまり秋祭り 2018 がありました。恒例のわっしょいパレードや市民総踊りのほか、伊万里市観光大使を務める池田輝郎さんとキンタロー。さんのステージなど、多彩な催しで大勢の見物客を楽しませました。また、伊万里神社御神幸祭『伊万里トンテントン』も行われ、厳かな巫女舞や勇壮な模擬合戦などが披露されました。



伊万里市観光大使の池田 輝郎さん（右）とキンタロー。さんのステージ

終活セミナー

自分らしく生きるために

市民センターで、終活セミナーがありました。一般社団法人日本エンディングサポート協会理事長の佐々木悦子さんが、終活の始め方やエンディングノートの書き方について講演。会場には、弁護士や税理士などによる無料相談や、遺影撮影、入棺体験のコーナーなどがあり、参加者は人生の最終章をどう生きるかのヒントを得ていました。



↑「エンディングノートは今を生きるノート」と話す佐々木さん

伊万里・長崎国際大学 観光プロジェクト

市外の学生から見た伊万里は？

長崎国際大学の学生に伊万里の市街や観光地を見てもらい、観光についての提言をしてもらおうと、伊万里西ロータリークラブが企画した観光プロジェクトが、市駅ビルでありました。グループに分かれて市街地と大川内山を散策した学生たち。自分たちの目で見て感じた伊万里の強みや弱みなどについて、率直に意見を出し合いました。



↑大川内山の良いところや直すべきところなどを話す韓国からの留学生

第14回ボランティアまつり～ふれあい広場～ ボランティアでみんなに優しい町に

市民センターで、ボランティアまつりがありました。これは、市民との交流を通じてボランティア活動への理解と参加促進を図るため、市ボランティア連絡協議会と市社会福祉協議会が毎年開催しているものです。会場では車椅子・アイマスクの体験や、ふれあいバザー、ステージ発表などが行われ、多くの参加者でにぎわっていました。



車椅子に乗ったり、押したりして福祉ボランティアを体験



↑健康麻雀初心者教室也大盛況

やってみゆ～だ 2018in 大川町 多世代が集う催しが盛りだくさん

大川町コミュニティセンター周辺でやってみゆ～だ 2018in 大川町がありました。全国玉入れ協会公認の玉入れ選手権などのスポーツイベントを始め、佐賀牛バーベキューや大川町ふるさと祭り、お楽しみ抽選会など、さまざまな世代が楽しめる催しが盛りだくさん。フィナーレには花火大会もあり、来場者は充実した一日を過ごしました。



↑玉入れ選手権には熊本県や大分県などのチームも参加

市文化祭『合同芸能発表会』 秋にふさわしい文化・芸術の集い

市民センターで、市文化祭『合同芸能発表会』がありました。文化ホールでは、市内の13団体が民舞やフラダンス、箏曲など、日頃の活動の成果を披露。そのレベルの高さに、会場からは盛んに拍手が送られていました。また、館内では華道展や盆栽展なども開催されており、訪れた人たちは、思い思いに文化・芸術の秋を楽しんでいました。



T・S・Sによる箏曲と伊万里合唱団のコラボレーション



↑幸乃会による洗練された邦楽舞踊



↑館内で華道展の作品に見入る来館者

子ども観光ガイド 気持ちを込めてふるさとの魅力を伝えます

大川内山で、子ども観光ガイドの実践がありました。これは、子どもたちが郷土に愛着を持てる学習機会を提供する『子ども伊万里塾事業』の一環として行ったものです。市内の小学生7人が8月から10月まで事前学習を行い、藩窯秋祭りに合わせて実践。観光客を前にして少し緊張しながらも、大川内山の魅力を分かりやすく伝えていました。



↑鍋島の特徴などを分かりやすく解説